夕刊
いわき民報
発行所
平市田町六三
いわき民報社
編集部電381
広告専用電1222

シンガーミシン
指定販売店
石川ミシン
平市二丁目電1232

業者は過重労働強いる 直営にせよと陳情

特失事業足踏み状態續く

特別失業対策の就労に平市新川工事現場で早くも過重労働があると、全日自労組では二十二日の県土木常任委員会に高萩、鈴木両県議を通じ「特失事業を県直営工事にされたい」と請願することになつた。一方平更生労働協会長鈴木節子氏も労働省に特別失対の直営工事方と特失作業員の適正化を陳情のため二十四日上京するなど、十月一日施行の特失事業に足踏み状態を続けている。

一般失業対策事業就労枠三千三十名を一千七百四十名に削減され、特別失対事業に一千七百五十七名が就労斡旋されることになつた特失は、本年始めの緊急特別失対とは異り、一段失対の枠が半減されただけに、三千三十名の一般失対労務者のうち一千二百九十名は特別失対に就労しなければアブレる危機に直面することになつた。平職業安定所でも特失一千七百五十七名の労務者斡旋を十九日から始めたが、特失事業の就労條件が一般公共事業並みなところから身体強健者の抽出に悩み、また継続事業として九月末まで行われた緊急失対事業の打ち切りに伴い同労務者の特失への横スベりも出来ないところから緊急失対労務者達の抗議をうけ、同職安所自体としても失業者集團地帯を作業現場が遠距離な特失に対しては批判的な見解を持つている。また請負業者としても一般公共労務者より能率の劣る特失労務者を喜ばず、特別失対事業は各者不満のまま第一歩を踏み出した。たまたま平市新川改修工事に某土建業者が男女とも五リユーベの労働を要請したことから、全日自労組では「過重労働だ」と適正作業量を示さなければ就労も拒否する態度に出ているが、結局これらの労働條件の解決は特別失対事業を県直営にする以外にないと労働省並びに県当局に働きかけることになつたもので、特別失対計画が労働省、建設省の立案したものだけにその解決が困難視され、また一般失対枠を半減された現在、失業者としても長期にわたる反対運動は難かしく成行きが注目されている。

柿のもぎとり

二十二号から始まつて本土に接近した台風も、二十六号でピリオドを告げたと測候所の発表だが、どの台風にも幸い浜通り方部はさしたる災禍もなく過した。ゆたかな稲穂のとり入れが始まり、かん高いもずの泣声が秋空にこだまする今日廿一日は久し振りの快晴、雨にたゝかれ、風にうたれた柿の梢は葉もまばら、むき出しにされた柿の実が陽に映えて美しい、今年はなり年で枝もたわゝになつているが、相場は案外に強気で、貫生もの市場卸しが三五―六〇円という相場、もぎとりも最盛期に入つたので値段も多少安くなりましようと市場で話しているが、各家庭のひさしに干柿がくるたくなくゆれるのも間近い。

【写真は柿のもぎとり】

炭鑛保安に功勞

きよう地方表彰式擧行

二十年度鉱山保安優良地方表彰式は二十一日午前十時半から労働会館で三炭鉱、三保安管理者、三技術員、十八名の一般鉱山労働者、炭鉱主婦、炭鉱家庭が磐炭労大河原一次執行委員長から賞状を授与され、通産省鉱山保安局長、東京通産局平石炭支局長から祝詞をうけた。被表彰者次の通り。

▼保安優良炭鉱　古河好間炭鉱、須藤炭鉱、山口炭鉱。

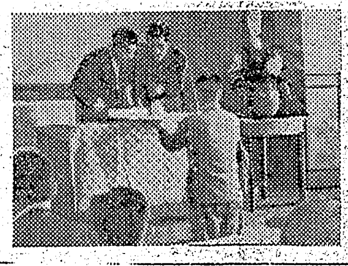
▼保安管理者　円谷毅弘（小田）常石亀吉（須藤）中川湾一（茨城）

▼保安技術職員　後藤治（好間）成井芳之助（山口）遠藤政雄（常磐）

▼鉱山労務者　大津今朝吉（矢ノ倉）大森幸英（小ノ田）井上留治（好間）蛭田丑次郎（大日本勿来）林松雄（綴伊東）菅原秀雄（日曹赤井）深瀬孝一（常磐）上野悦男（同）横山富次（同）大沼一郎（関本）加藤健治（櫛形）浦原徳雄（望海）内田正吉（重内）小松勝蔵（山口）西成末松（高萩）大部一三（須藤）斎藤国友（茨城）服部吉吾（同）

▼炭鉱主婦　柳田キクヨ（望海）

▼優良家庭　大浦国雄（茨城）松下月雄（重内）



【写真は表彰式】

平市内中學珠算競技會

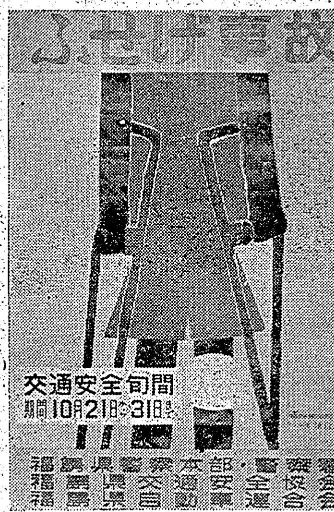
廿五日開く

平市教育研究協議会（会長新家芳美氏）主催の市内中学校珠算競技会は、二十五日午前十時から各学校毎に行われる。暗算、読上算、見取算と三種目に亘つて日ごろの腕を競うが入賞者には賞状が贈られる。

交通安全運動始まる

各署では多彩な行事

今二十一日から三十一日まで全国一斉に秋季交通安全旬間が催され交通道徳昂揚と交通事故防止を目標に各地で各種行事が行われるが石城郡下各警察署、交通安全協会でも県下初のこころみの交通整理大会など多彩な行事が予定されているが、初日二十一日は平署では平駅前駐在所、三丁目横山商店前に「右はぼくらの歩く道、左は車の通る道」の入選標語の大立看板をかゝげ通行者の注意をうながすほか平駅前に交通事故現場写真展を開き道行く人々に交通事故による惨事の認識を新たにしている一方常磐署では午前九時から自動車約二十台を連ね、交通事故防止のマクをはりめぐらし、同市のキレイどころ約十名を同乗させ交通事故防止カーニバル隊を編成市内を行進、初日を飾る啓蒙宣傳活動を行つた。また内郷署は内郷一中の生徒二十名をコマンドカーに分乗させ宣傳活動を行つた。



ふせげ事故
交通安全旬間
期間10月21日から31日まで

【写真は交通安全旬間ポスター】

市民税輕減は不可

常磐市議會で決定

常磐市議会では去る八月定例市会開会の際西山議員外三名から市民税軽減の條例改正案が出され特別委員会（委員長松本庫造氏）を設置し以来前後六回に亘り審議した結果、現下の財源難とこれからの事業遂行のためには一円でも余計にほしい折でもあり到底減免は不可能との市当局の要請もあつて、委員会では結局これを諒として六月決定した原案通りとすることにした。この経過は十七日から開かれた臨時市議会に松本委員長から報告した。よつて委員会は解消した。

中學連合音樂會

廿六日平二中で開催

平市教育研究協議会主催の市内中学校連合音楽会は二十六日午前九時から平第二中学校講堂で、市内七校約三百五十名の選手が出場して、独唱、合唱、器楽などを公開する。

工事請負者

植田土木事務所ではこの程左の力所を指名入札に付し夫々請負契約を締結した。

一、特別失業対策鮫川改良工事仮設堤防（高サ一米延長四六〇米）及築堤護岸工事請負者大木光男（三二五万円）二、同渋川築堤護岸工事及東田橋新設（一二四万円）蛭田勝雄三、釜戸川（特別失対工事延長四六〇米巾三米法二米）三九五万円（高木好栄）四、藤原川（小名浜）川床掘さく延長下流部七〇〇米（七九五万円）中山吉之助

小川町完遂

赤い羽根募金

十月一日から始つた赤い羽共同募金に石城郡のトツプを切つて小川町が二十日目標額九万六千六百七十九円を完遂した。なお郡内の募金状況は二十日現在七十五%。

コドモらが無料で入場

四倉で問題化

青年会や各文化團体で催す映画楽園などの場合、四倉町の小中生徒らは五、六人が團を組織しで会場内にモグリ込む。ことに最近はこうした小中生のモグリ團体が激増してきた。まつたく情操教育のたい廃だと各團体では学校、一般家庭の父兄らにこれが取締り方を要望している。

昨二十日四倉町共同募金協議会では、募金目標額達成のため「映画の夕」を同町小学校講堂で催した際に、前売券より児童らが多いのに気ずき、係員が場内をみて歩くと中学生が窓から侵入しているので、捕んでそのわけを聞いてみたところ一人が入場料を払つて入り窓ガラスの鍵をはずして友達を引き入れるという手口が判り、調べに当つた係官をあぜんとさせた例をはじめ、最近は非常に児童らのモグリが激増しているところから児童らの情操教育と、夜遊びの防止が強く叫ばれている。

渡辺教育長談＝こうした学生らしくない行動があつたなら遺憾に堪えない。今後は充分指導連盟の活躍に力を入れ、校外指導に全力をつくす。

稲の品評會

小川町で開く

小川町四Hクラブ（会長草野邦夫氏）では二十八日午前七時半から下小川地内の水稲作品評会を開き入賞者に賞品を贈る。審査員は四倉地区指導所員。

文化祭打合會

産業文化祭の文化館関係者の打合せ会は二十八日午後二時から平市公民館で打合せる。

天気予報　二十一日

【今晩】北西の風、晴時々曇。

【明日】要よりの風、秋晴れの良い天気。

海上は今晩沿岸から次第におさまり明日は大体おだやか。

セバード犬の所有者に告ぐ
JSA福島縣濱通り支部
創立二周年記念全國大展覧會
日時　十月二十三日（日）午後九時開始
場所　平市營グランド
申込期日　十月二十日（当日も受付けます）
申込場所　當支部（田町　三井医院内）
出陳料　一頭につき壹千円也（中食、参加賞付）
賞品　平市長賞、平商工会議所会頭賞、展覧会々長賞、トロフイー、大カツプ数百
入場無料　多数御参観下さい
主催　社團法人日本シエパード犬登録協会
福島縣濱通り支部

御婚禮の贈物に…

根本
平2・電607

一丁目と平和通りの
鈴木勘氏商店
（皮ジャンバー・皮ズボン各種荷揃）
セーター
オーバー
ジャケット
スーツ
ズボン
ジャンパー
背廣上衣
背廣三揃
スプリング
洋服生地
★勉強御注文承りますお早めに★

純毛のシーズンを迎えて…
品質本位の
スーツ地・オーバー地
数百点と取揃えました
末代まであきの来ない
最高品のみです
服地専門店
マルエ
平・銀座・電265

身近な科學

▽つり橋の架け方渡り方

瀬谷眞吉郎 （上）

私は古稀過ぎた老翁、飯野小学から揚土の磐城高小、創立第一回の磐中生として植竹校長の下に学んだが中退就農、更に又師範入学という様な事で永く教育界に居、終戦前四十年振に帰郷、昨秋一度愚庵父母妹の史実に絡む老友逝去の事で本紙上を拝借したあの者である。

実は戦後の教育や社会状態に就いては愚見を述べて見たい折もあつたが、私も戦前国策に捧げた意味では確な戦犯の一人である。歴代文相中初めて私淑した故橋田文相、当時既に責任の地位を去つて元の一教育者となつて居下ら尚お前責を感じて自決されたあの橋田氏の心事を思うとどうも「免れて恥」あり、社会的な問題などに口を揃む事の後めたく、黙してやがて永久の黙止に入る覚悟であつた然し明瞭な人命問題。然も一言のヒントは必ずやその災害を絶無に近からしめ得ると信ずる問題は例外である。本紙当局の御好意に甘え、小さくは自己子孫の安全の為にも、一般読者特に学校関係各位の御考慮に資したく、為にその一端を述べる次第である。

×　×

過日早稲田の高校生が多数遭難した土湯のつり橋墜落事件の経過を見て居ると、結局橋の復旧と責任者達の処罰でけりの様で、新聞も雑誌もその真の防止策にはまだ触れて居ない。これから徐々に触れるのならよいがこのまゝならば忘れた頃には今迄通り全国数多い渡船の転覆などと共にこの原始的国辱的災害をくり返すことは、遺憾ながら間違いない。そんなら私の云う真の対策とは何であろうか過日の毎日新聞の例から憂楽帳には「悪く思わないで」と云う見出しで

「人生」という人生論雑誌で人生論の大家先生たちがお高説をヒレキして居る中に、ある学校の先生が「子供は教師に絶大の尊敬と信頼を抱いて居る。…わが子がかわいゝなら、子供の前では教師の悪口は決していわないようにしてほしい」と書いておいでになる。

これを読んで筆者は、しまつたと思つた。なぜならつい数日前つり橋がおちて早稲田高校の生徒が多数ケガをした記事を読んで、うちの子供に向つてこういつたばかりだから—「近ごろの先生はバカが多いね。先生というものは新聞を読まないのかね。つり橋に子供をたくさんのせて大事にいたらせた記事は新聞にもたびたび出て居る。新聞に出て居なくてもだいたいつり橋というものに四十人も一度に子供をのせるというのは、バカでなきやできない。先生のいうことをうのみにして居ると命があぶないぞ」と。ほんとうに「わが子がかわいゝ」からだ。先生、悪く思わないで。（且元）

と出て居た。

この筆者は「悪く思わないで」と云つては居るが、それは「バカ」と云う様な失言の緩和で、あきれ返つて居ることは申すまでもない。然し私はこの文を見て一時希望が閃めいた。と云うのは表現はともあれ、此人は根底に私の思つて居る真の対策を蔵して居り、やがてその有力なジャーナリズムを通して触れるのかも知れない様な気がしたからであつた。然し若し表現通り只「四十人もを一度に載せた」ことの憤慨だけに止るのでは私の危惧は癒らない。忘れた頃の再発にはさして効果がないばかりか別の意味で却て困るからである。

どんな素朴簡易な理論でも、理解の伴わない鵜呑み程危険な事はなく（この頃もあつた理化実験に於ける爆発事件は大方これ）又わけもなく恐れる余り、いわゆる「君子危きに近よらず」や「あつものに懲りてなますを吹く」で、何もせずに引つ込んだり逃げようとしたりする程、亡国的で時に却て大難の伴うものはない（理化実験や水泳等にこの例を見る）

要するに私はこの種の不幸は単なる不幸に終らせず、学校も当局も新聞も雑誌も単なる恐縮や褒貶に終始せず、其都度必ずその単純簡易な科学的理論に触れ、建設管理と使用の両面からこんな恥づべき災害の起らないよう根底を固めたいだけである。

ここまで申せば、私の云おうとするその理論なるものを既に悟られた方々もあろうと思う。それ程単純な理論だからである。然しその徹底のさせ方は決して一通りではないのだから、私のにも何か私の個性的なものがあつて、御参考にならないものでもないので、以下御清読を乞う次第である。（つづく）

炭鑛を背景にロケ中
近く"浮草日記"完成
津島恵子、菅原謙二ら活躍

常磐炭鉱磐崎鉱で去る十七日から山本薩夫監督始め東野英治郎、津島恵子、菅原謙二など一行七十名のロケ隊が同鉱の潤風荘に宿泊して独立映画KK製作配給の「浮草日記」を撮影中である。浮草日記は「馬五郎一座」という題名をこのほど改名したもので、こゝでの撮影は三日間の予定だつたが、天候不順で延々となり、一カ月になるというのに一日分しか撮影しておらず、ロケ隊一行はきまぐれな秋空をうらみながら"あと一週間位はかゝるかしらん"と早くもホームシツクにかられている。この映画は十一月十五日封切りの予定で上映時間一時間半。最初「こゝに泉あり」「姉妹」「由起子」に引続き中央映画が製作する予定だつたが、都合で独立映画が製作することになつたもので、山本プロダクション、劇団俳優座提携作品ロケ隊一行は常磐労組の全面的な協力を受け感激しているが、天候の悪い日には英ちやん、恵ちやん謙ちやんなどカンテラさげて坑内見学にウサを晴らしている。

この映画のものがたりは馬五郎一座という田舎廻りの芝居が玉木屋という興行主にいためられながら、一座の生命の瀬戸際となつたアル炭坑町での興行で突然ストライキが起り、一座は危機に直面する。こゝで争議団と一緒の生活に入るが、苦しい中にあつてアカといわれる人たちのやさしさが次第に身に泌み、争議団を見直すようになる。労組の人たちとボス玉木屋に対抗する家族けつ起大会の名による芝居を張つて見事玉木屋をやつつけ再び希望のドサ廻りに出発するといつたストリーで、何くれとなく常磐労組から協力を得ているロケ隊一行も映画の筋書きじやないが、似たような場面に恐縮している。

この映画は劇中劇で「鈴カ森」「娘道成寺」「赤垣源蔵」「血桜千太」などのさわりに、ラストの新劇であるが、新派の女形、上田茂太郎のほかは新劇か映画の人で役者が役者になるという苦労にこの映画の面白さの一面がある。「勲章」につぐ俳優座の第二回自主作品、俳優座総出演。昭和三十年度芸術祭参加作品。脚本は「渡り鳥いつ帰る」「たけくらべ」「夫婦善哉」の八住利雄。配役の主な人たち次の通り。

東野英治郎、津島恵子、松本克平、菅原謙二、福原秀雄、花沢徳衛、上田茂太郎、江幡高志、佐藤茂美、中村美代子、小沢栄仲谷二郎、高橋昌也、加代キミ子、岸輝子、東山千栄子、岩崎加根子、島田屯、田中筆子、浜田寅彦

【写真はロケの一コマ、津島と菅原】

拾得物

▽平駅＝二十日　風呂敷包み一個午後四時四十五分平着上り列車内▽帽子一個、午後六時四十三分平止り列車内▽風呂敷包二個、午後八時五十分平着下り列車内。

▽平署＝十九日　現金千円、平市白銀町地内で午後六時ごろ▽現金百円、平局内で午後七時三十分ごろ。

野菜果物相場

廿一日　卸相場（丸平市場調べ）

貫当り円　高値—安値

▽大根（長）四〇—一二（丸）四五—一二〇▽白菜五〇—三五▽ホーレン草一二〇—八〇▽里イモ七〇—四五▽サツマ六〇—三〇▽ジヤガイモ五〇—二〇▽ゴボウ八〇—五〇▽人じん一三〇—七〇▽ネギ一二〇—八五▽玉ネギ九〇—六〇▽ヘラナ二八—二〇▽ニラ（一把）七—四▽アブラナ二五—一五▽菜生が（一把）一八—一六▽キリイモ一二〇—八〇▽ヤマトイモ一八〇—一〇〇▽ヘライモ一二〇—八〇▽キャベツ一二〇—八〇▽アズキモヤシ四五—三三▽キユウリ一八〇—五〇▽柿（ナマ）四五—三〇（ムキ）二〇〇—六〇〇▽梨一〇〇—四五▽イチジク一五〇—八〇

一石二斗のイナゴ採る
磐城市の三小

磐城市第三小学校ではこのほど全校生（三百名）がこぞつて附近の田にイナゴ取りに出かけ全部で一石二斗を集めて各自家に持ち帰つた。

靴ドロを送検

常磐署は二十日常磐市関船無職菅原良雄(三)を窃盗の疑いで身柄送検した。

菅原は去る八日午後十時ごろ同市天王崎「朝日食堂」にあつた同市三函三森利夫さん所有の短靴一足（時価三千円相当）を盗んだもの

貸席　小富　電二〇二番

貸ふとん　平市新川町　スズキ

月賦　指定商　チケット歓迎　ラジオは日東

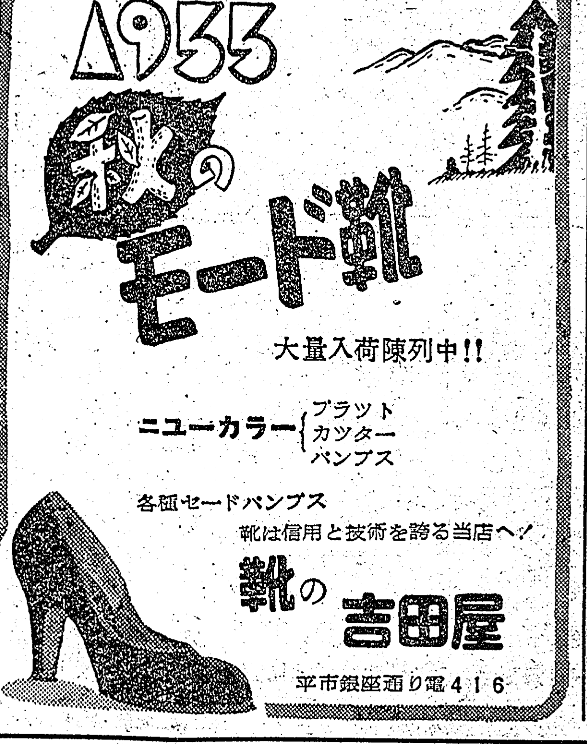
すき焼　一の井　平市田町　電二一〇

肛門科　外科　上田醫院　平市南町（平局裏通）電話一二九番

○喜多流　謡曲　仕舞
○幸流　小鼓
平市田町　電一二七
お稽古　毎週月水金土【入会随時】
白土稽古舞台

眼科　▽労災保険指定　安田醫院　平市紺屋町　電一二三五

よく効くお薬は…　親切な　仲見世薬局　平電一八六六即時配達



1955
秋のモード靴
大量入荷陳列中!!
ニューカラー｛プラット　カツター　パンプス
各種セードパンプス
靴は信用と技術を誇る当店へ！
靴の吉田屋
平市銀座通り電416

あみもの生募集
十一月の部・昼、夜、日曜の部
平市紺屋町六三（電四八九）
平デザイナー編物普及会

11月1日
11月25日
豪華な十場面
一、太閤と曾呂利新左衛門
一、水戸黄門記
一、いなばの白兎（童話）
一、養老の瀧の孝子
一、千本櫻道行狐忠信
一、一寸法師おわんの舟の旅
一、神崎東下り
一、忠臣藏道行
一、サル　カニ合戰
一、カチカチ山
反物當選福引券付
團体割引申込受付
前賣發賣中
★★前賣券は五十圓★★
前売入場券をお早くお求め下さい
平の菊人形
平　市　磐陽菊花會　三和新報社

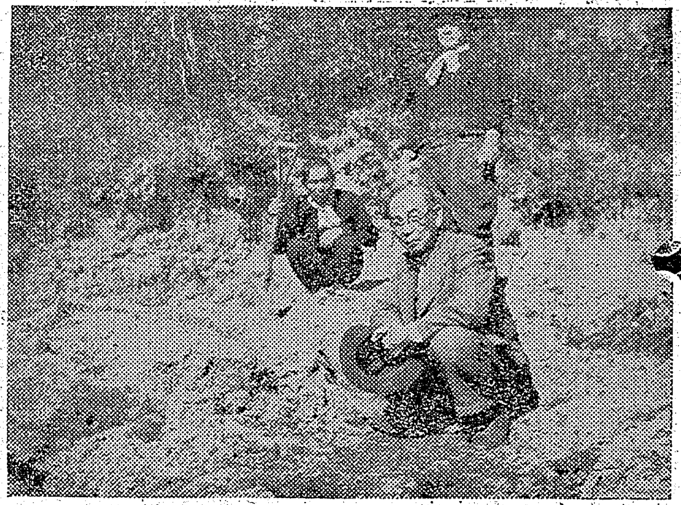
須恵器の破片發掘

大平地内　最古の釜場と判る

平市赤井大平地内に今から千四五百年前に当る古墳時代につくられていた須恵器といわれる土器の破片が沢山発見され、こゝが今のところ平市で一番古いカマ場であることが判つた。去る十六日八代県文化財保護委員鈴木光四郎氏、柳沼市教委主事、鈴木隆衛市議ら一行が現地調査を行い、確認したもの。

赤井地帯は優秀な粘土の産地として現在でも耐火煉瓦の原料が掘られているが、このカマ場は山間地帯にあり、急斜な山を利用し、山下で火をたき火力をつけたため、松の木を燃料にして千度からの高温を出していた。松の木を燃料にして果して千度からの高温が出るかどうか関係者も疑問としていたが、松のスミが沢山発見され、それに混つて出てくる土器の破片が普通の土器と違つて、たたくと金属的な音が生ずるほどにしつかりとやけている。発見されたものはいずれも土器の破片で丸味を帯びており、布目がついている。一時は石森山忠教寺や高久大越の廃寺跡に使用された布目ガワラの供給源ではなかろうかと注目されたが丸味を帯びているところからツボかカメの破片ということになつた赤井からとれる粘土には真白いもの、赤色のもの、真黒いものといろいろあり、アク色のものもあるが、この破片はアク色のもので真白い耐火煉瓦よりも耐火性が強いとされている。

柳沼主事談＝丁度奈良朝時代に当り、当時はロクロもできて精功な器物も出来たが、こゝ赤井は辺僻なところとあつて、未だに布目のもの、これはツボを作るような場合竹であんだカゴの内面に粘土をぬり、その上から湿気をとるため布をあてるので布のあとが粘土にきざまれるもの平市ではこのカマ場が一番古いワケだ。ムカシから赤井は粘土工業が発展していたワケである


【写真は古墳時代のカマ場を視察しているところ】

磐城市の扶助者

今年四月から九月まで磐城市の生活扶助受給者は次の通りであるが磐城市が港街であるため魚が取れる八、九月ごろの季節には出かせぎに出る人も多くなるので受給者が減少している。

四月千二百十二、五月千百九十四、六月千百六十九、七月千二百一、八月千百八十四、九月千百三十八人

讀者の聲

暖昧な土木課に苦言

平市が常磐炭鉱に協力して製塩工場を誘致することになり平発電所裏手に敷地をもとめるため九月以来地主と折衝をはじめていたが、丁度私が手掴町に田五畝と畑一反歩ほど所有していたところから、市土木課からゆずつて欲しいとの交渉を受けた。以前私は鎌田山上水道の敷地とか平二小の校舎敷地などでこのような場合の交渉には幾分馴れていた関係もあるため九月二十日に土木課のAという係の方がみえてこの交渉を受けたとき私は〃貴方を疑うわけではないが契約はハツキリ証拠をつくつておかないと後日必ず問題がおきる〃として離作料は五畝当り三万円と決め、係の人が印鑑を所有していないというので母印でその時の話合いを決めていた。安心して後日土木課に行つて契約通り金を出して欲しいと話したところ、〃いや離作料の三万円は反当りの間違いじゃないか、五畝当りの契約した話はきかない〃と、その時Aさんはいなかつたので別な人からいわれ、納得しないまゝ帰つてきた。

それでAさんがいる時話をしないとわからぬというので後日、Aさんに会つたら〃いやー私は貴方にあやまらなきやならない〃と、暗にあの時の契約をごまかそうとかかつてきた。前に平二小の敷地の時は私の畑を換地にして譲つたがその換地はゴミを埋めて高くしてくれるとの契約だつた。これが契約書を取つておかないばつかりにそのまゝにされた事実もあり、鎌田山上水道の時には一時鯨岡地内に建てるというので私の田を勝手に使つてからあとで諒承を求めたり、相当手古摺つた時があつたので、この時もナールほどと思つた百姓は馬鹿だとかゝつて交渉し、適当にゴマ化せるとみているのだろうか。たかゞ一万五千円位どうでもよいだろうとかゝつているのか。私は市の係の人でも諸橋市長の代理できていると心がけ、信頼もしてきた。それが適当なことでゴマ化そうとする気持がたまらなく、しやくにさわつて仕方ない。今後工場誘致など行われる場合、このようなことが再び繰返されないとも限らず、吏員たちのやることと総てが、市長の信望に通ずることでもあると思うのでこの際、特に吏員たちに猛省を促したい。

（平市幕の内農業E生）

五ッの庭球大會

廿三日を皮切りに開く

国体、県体大会で夏以来中休みの状態にあつた石城郡軟式庭球界は二十三日の高校新人戦を皮切りに五大会の幕を開き、秋期テニスの祭典を繰り展げることになつた。各大会次の通り。

▼十月二十三日浜通り男女高校新人庭球大会（磐高コート）

▼十一月六日磐城地区軟庭選手権大会（磐女コート）＝申込締切十月三十日

▼十一月十三日磐城地区高校対抗庭球大会（磐高、磐女コート）＝締切十一月五日

▼十一月二十日磐城地区クラブ対抗戦（磐女コート）＝締切十一月十日

▼十一月二十三日浜通り地区三階級庭球大会（磐女コート）＝締切十一月十五日

なお申込はいずれも平市田町大坪商店内福島県軟式庭球連盟で受けつける。

中學野球

廿三日勿來中

市制施行を祝福する勿来中学校の野球大会は来る二十三日勿来市中学校長会が主催となつて川部中学校のバツクネツト披露をかね盛大に催されることになつた。

四時川のけい谷

紅葉観賞の時期迫る

紅葉の季を迎えた景勝の地四時川渓谷附近の眺望のよい地点に勿来観光協会ではベンチを数カ所設け近く四時滝附近の林内に憩の場所〃あずまや〃を建設するプランを立てゝいる。観光協会では二十日川部中学校で理事会を開いて四時川の観光地を広く宣伝する事を申合せたのち、理事及び来賓約五十名の一行はトラツクに分乗しそぼ降る秋雨を冒してハイキングコースを視察した。なお四時川渓谷の紅葉観賞期は来月五、六日ごろが見頃。

無錢飲食

常習者は二十日午後九時ごろ新潟生れ住居不定無職福田力男（三四）を無銭飲食現行犯で逮捕した。同人は同時刻ごろ常磐市三函旅館「美里」こと日下ツヤさん方で千三百円相当の無銭飲食をし逃走したところを逮捕されたもの。

今泉教諭方荒しを手配

平署は二十日磐城市古港元船大工越川光男（三二）を窃盗の疑いで指名手配した。越川は去る二日午後九時ごろ平市正月町平一中教諭今泉正男さん宅の台所の硝子マドをこじあけて侵入、手提カバンから現金三千五百円、金側腕時計（時価一万円相当）ズボン（時価三千五百円相当）計一万七千円相当を盗み逃走しているもの。

映畫歸り強盗に襲わる

内郷署で前科者をすぐ逮捕

二十日夜十一時二十分ごろ内郷市水出地内道路上で映画帰りの娘さんが強盗に襲われ、非常招集をかけた内郷署では三時間後に犯人をスピード検挙した。

内郷市高坂町立野二九店員福田チエ子さん（一九）は綴映画劇場からの帰り、あとからつけて来た二十二三才の男に突き飛ばされ、現金三百円入りのハンドバツクを強奪された。福田さんの届けをうけた内郷署では全市に非常線を張り、同市高坂町台の自宅にいた無職箱崎拇（二二）を三時間後にスピード検挙し、同人の自供によりハンドバツクを押収した。スピード検挙の原因は福田さんが後をつけられた気味の悪さからふり返りふり返り何度も箱崎の顔を見たことゝ、汽車の中で数回箱崎の顔を見たことがあり、箱崎の顔には二寸位の火傷あとがあつたことから、同署では前科者と見て調査したところ傷害前科二犯の箱崎と直感、箱崎の任意出頭を求めたところ包み切れず自供したもの。箱崎は母一人子一人の家庭で、火傷で顔がみにくゝなつたことからヤケクソになつていたもの

【写真は犯人箱崎】

井戸に墜落

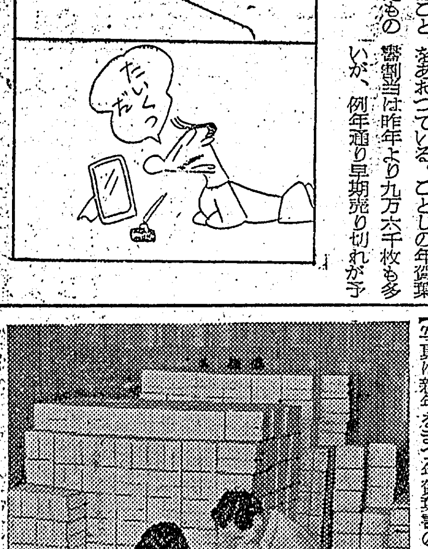
幼児が水死

小川町西小川農業丸山四郎さん（三〇）の長女静子ちやん（四ツ）が十九日行方不明となり警察署に届出るなど捜査にあたつていたが二十日午前七時ごろ自宅の井戸に転落水死しているのを発見平署に届出た。同署の調べでは静子ちやんは十九日夕刻井戸の附近で遊んでいるうち誤つて転落水死したものと見ている。

早くもお正月氣分

〃年賀はがき〃山と積む

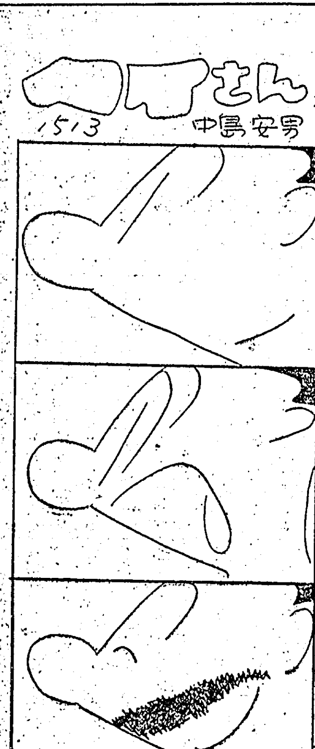
〃平市にもうお正月がやつて来た〃十一月十五日から発売されるお年玉つき年賀葉書百八十六万五千枚が平郵便局に到着し、福寿草のスタンプ付きで早くも新年の気分をあおつている。ことしの年賀葉書割当は昨年より九万六千枚も多いが、例年通り早期売り切れが予想されている。平郵便局では早速常磐、磐城局のほか各特定局に発送することになつたが、年賀葉書のお年玉も今度は特賞に電気洗濯機が予定されている。


【写真は新年をまつ年賀葉書の山】

さらに二店

紳士服に入賞

その後入つた連絡により即報の「全日本紳士服技術コンクール」に四倉町新町鈴木洋服店鈴木正寿さんのシングル背広が一席に、平市六丁目森下洋服店森下公典さんのダブルスが二席にいずれも入賞した。


さん
1513
中島安男
たいくつだ

特選
裏毛メリヤス
毛布
豐富荷揃
三幸

旅行に
ハイキングに
輕快な
シヤレタ
ジヤンバー
新型豐富入荷
平指定商加盟店
丸恵屋
平市中央通り電1852

○看護婦家政婦の御用命は
電話三〇七番
労働大臣認可
平看護婦家政婦斡旋所
○親切丁寧な看護婦 家政婦 御利用下さい
平市南町

整形外科
外科
内科
金成醫院
金成桂一
平市鎌田町一三 電話八二六番

公證役場
梅田隆秋
平市谷川瀬明治町七八
（平競輪場向側）

産婦人科
中田医院
平市材木町聚楽館前
電話一〇九七番

父鈴木清八儀十月二十日急逝致しました こゝに生前の御厚誼を深謝し謹んでお知らせ致します
追つて葬儀は十月二十二日午後二時（仲間町の居宅）にて相営みます

昭和三十年十月二十一日

平市田町四七
喪主 鈴木一男
男 鈴木茂
親戚総代 鈴木亀高

縣入選二位作品

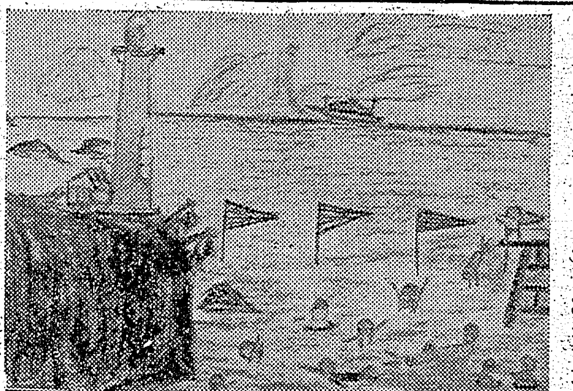
湯本一小四年　鈴木　博子

○ある日の出来事

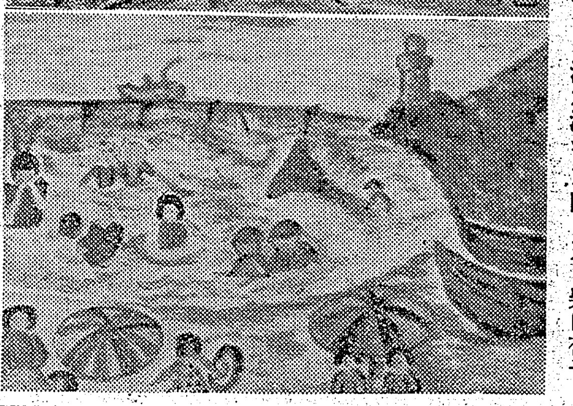
ある晴れた日の学校の帰り道の事だつた。

友だちと学校の坂道をおりて来ると小木のさんの家の四つ角で、大ぜい人があつまつて、なにやらさわいでいるのが見えた。「なんだろう」。「なんだろう早く行つて見よう。」とだれかが言つた。私たちはかけていつて見た。大ぜいの人でなかなか見られなかつたので大人の人のまたをくぐつて中に入つて見ると自転車がこわれていて、二十二さい位の人が、あをむけにねせられていた。おや死んだのではなかろうかと、とつさに思つた。顔やうでに血がついている。よく見ると、ときどき大きくいきをしたり体を動かすので、おやまだ生きているらしいわと思つてほつとした。でも生きているのかどうやらわかるぐらいで、ほとんど死人と同じ位でした。「この人は助からないのだろうか。」と急にかわいそうになつて来た。その時私のそばにいた大人の人が「なにをぐずぐずしているのだ。はやく医者につれていかないか。」とおこつたような大きな声でどなつた。私もほかの人も、びつくりしてその人の方を見た。目がおそろしいほど光つていた。三輪車のうんてん手は、「ハイ。」とふるえた小さい声でへんじをするなりエンジンをいきおいよくかけ、黒いガソリンくさいけむりをあつまつている人のからだにふきつけてちかくのおりうち医者に走つていつた。「これはひどい。なんてやろうだ。きをつけろ」等と大きな声でだれかがいつた。がだれもがみな心配そうな顔をしていた。「どつちもどつちだ。それでなくともあぶないこの四つ角を、むちやくちやにとばしてまがろうとするからこんなことになるのだ。」「ほんとうにあんなことしちやけがでもしないのがふしぎだね。」「けがをしたのはあんがいかるくてよかつたよ」と大人の人は、おもいおもいに三輪車と自転車のしようとつのことをはなしあつていた。

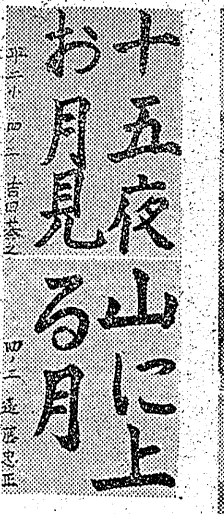
私は「あんがいかるくてよかつた。」というのをきいて、急にほつとした。やがて私たちは、そこをはなれて家に向つたが、だれも今の事故の事については、はなしをせずだまつてあるいた。家に帰つて父や母にこのことをはなすと父は「きそくをまもらないからそういうことになるのだ。舟も汽車もひこうきにもそれぞれきそくがあるのだが事故というものは、そうしたことをまもらぬことからおきるのだ。だから一人一人がきそくをまもることにどりよくをすれば、かなしいこともおきず、みんなが幸ふくにくらしていけるのだが、このごろのわかい人たちはどうしても注意がたりないので、毎日毎日新聞にかなしい交通事故がでているのだ。」と父はくらいかおをしていつた。「一人一人の不注意が大きな事故をおこすのだから、一人一人がきそくをまもり事故をなくせば世の中はかならず明かるくなるのだ。」と父はいくども、私に注意してくれた。それからというものは私は学校の行き帰りばかりでなく、どんな時でも注意しているが、自動車も自転車もちつともきそくをまもらないから学校の行き帰りも、又よそへ行く時も、おそろしくてしようがない大人は私たちにきそくを守れといつて、自分たちはきそくをまもらない。だから事故をおこすのはいつも大人の人たちばかりです。私たちは毎日毎日大人も子供もきそくを守り、明かるい交通が出来るようにかみさまにおねがいしています。



おもい出　平二小四ノ三　溝井　武



海水浴　平二小四ノ三　柴田郁子


十五夜山に上
お月見る月
平二小四ノ一　吉田恭之
四ノ二　遠藤

学芸

湯本一小作品

さめ川にいつたこと

三の一　長久保仁一

ぼくは、おとうさんと、いもうとといつしよに、さめ川に行きました。ぼくは草むらの中にかけあしでいつた。そこは、かにがいるところです。小さなかにや、大きなかにがいつぱい、よこにあるいています。「ああこれはよいかにだなあ」と思つた。ぼくは小さなかにをとろうと思つて、つかもうと思つたのになかなかつかまりません。それから大きいかにを見つけてつかまえようとするとかにに手をはさまれました。ぼくは、すばやく、ふくろの中に入れました。小さいのも五ひきとりました。そ[illegible]から、しばらくしてじびきあみを見ました。大きなさかながあみの中でぴよん、ぴよんはねまわります。りくにひきあげてみると、さかなは、みんないきいきしています。ぼくはその中の小さいさかなを三びきもらいました。帰るときは雨でした。

雨のためのびた運動會

三の一　大谷　敬

きようはまちにまつた運動会なのに雨にふられてざんねんだつた。

夕べはくだものやくりなどをたくさんかつてもらいました。

朝雨のふつているような音がしたのでびつくりしておかあさんにきいてみると「きようはあめだからだめね」と言われました。

ぼくはがつかりした。朝ではんのときも、ぼくは運動会のことばかり考えていた。

六時にもしかしたら花火がなるかと思つて、六時になるのをまつていたが花火もとうとうならなかつた。

学校にくるとき校ていを見たらテントができていた。白い線もきれいにひいてあつた。

一中の人たちが「二小の運動会は一かいで出来たときがねえな」といつていた。教室にきてもみんな運動会のことばかり話していた。

いつになつても雨はやまなかつた。

いわき俳壇

青柿會十月例會

渡邊何鳴　選

栗飯や健たんなりし少年期　蟬子

種茄子の枝すがれつゝたわみつゝ
赤い羽根白セーターの胸たかく
夕映をかそかにとゞめ種茄子　胤政

久々に訪い来し友や栗の飯
赤い羽根胸に肥満の市長かな
くゝられしまゝの種茄子一つあり　恭のぶ

街角に幼きこえの赤い羽根
街角に苔子も立ちをり赤い羽根　みつ子

種茄子やおうかた葉に枯れ落ちて
ほの暗き厨に栗の飯を炊く　茂堂

栗飯の栗を掘りいるわらべかな　よしを

うつむきて栗飯のさる老の母　粲子

栗飯やふるさとの山思いつゝ
栗飯のほくほくとして山の宿　川隅

赤い羽根胸にほゝ笑み交しけり
種茄子の紫ちれし一つかな　何鳴

栗飯や山の湯宿のもてなしに
栗飯の栗拾い食う箸置かず
赤い羽根晴天の街きよらかに
栗飯の栗の或いはむしばめる
颯爽とファッションショーの赤い羽根
はらからの賢愚は知らず栗の飯

十六夜秘帳

平太郎

一
ひゞく砲音もんどり落馬
腕は見事な高祖頭巾
密書どこやら懐中さがし
恨み尽きない腹立ちさ

二
剣を片手に構えて乙女
かばうお世話は生れつき
立つな向うな渦巻く川を
罪は眞つ平御免だぜ

三
すがる藤蔓切れたに不思議
こつち見給え藥助よ
縦横無尽に振舞う姿
時と場合じや何処までも

四
縄をバッサリ生命を如何
組み伏せられりやまゝならぬ
頭巾下から意外な男
平穏無事に血の煙り

戀の旅路

一
たつた四畳で気兼ねはしても
やがて花咲く希望を胸に
笑い飛ばそよ人生千里
恋は苦しい承知じやないか
今宵かぎりの身ではなし

二
酔えば介抱めいわくだろが
しかし此処だよスイッチを捻り
こゝろ静かに良く来て呉れた
人が捨てゝもこうまで可愛い
惚れた住居を千鳥足

三
風の音さえ貴方じやないか
今日も振子が忙しい鼓動
しばし逢わねばほつれ毛かんで
熱い吐息よ窓辺の月に
ひとり身を焼くセレナーデ

雨に咲く母

一
口にや出さねど淋しいな
雨がポトポト軒の下
吃度こうして待つてると
見える見えるよ母様が
銀の糸から手招くよ

二
汲む井戸深い六尺だ
一度摑めば離さりよか
嘘か本当か見ておいで
ほめるやさしいあの声は
今もまぶたによみがえる

三
合せ鏡に淑化粧
今日は何処やら教えてね
じつと見られてうつむいて
ねだりあるときや紅い耳
胸にひゞくは母の下駄

（作者は平市グランドホ）

商工らん

民劇の映畫變り日

平市民劇では上映中の「セールスマンの死」「邪魔者は殺せ」を二十四日までのところ二十三日迄に上映日を変更、二十五日からの「らく印」「腰抜け二挺拳銃の息子」を二十四日から上映する。

聚樂館の映畫變り日

平市聚楽館では二十六日からの「炎と剣」「白人しゆう長」は六日間上映で十一月一週から火曜日映画変りとなる。

磐城から出席者

県戦没者追悼式は十一月二日福島市公会堂で行われるが磐城市の代表者がこのほど決定し、鈴木貴褒会長ほか十五名が参加する。

今晩のラジオ　21日

◇NHK 一三六〇KC
六・〇〇 シンプンマジヤンバルジヤン物語
六・三五 オテナの塔
六・四五 （福）ゆう子の日記
七・三〇 新しい歌
八・〇〇 浪曲節
八・四〇 日本の町
九・一五 劇「八坂の塔の見える窓」
一〇・一五 おかめ八目
一〇・四〇 音楽の花束
◇ラジオ福島 一〇六〇KC
六・〇五 空の向うに何がある
六・一五 スイートコンサート
六・三五 リボンの騎士
六・四〇 父を訪ねて一万キロ
七・一〇 歌のデパート
七・三〇 エンゼルタイム
八・三〇 競輪アワー
九・〇三 明色歌謡ゲーム
九・三〇 パイロットミュージックアワー
九・四五 キツコーツルアワー
一〇・〇五 名作アルバム

民報映画案内

◇平市　十九—二十五日
★平館　夜六時三〇分　花ひらく　おんな大学
★民劇　夜六時一〇分　セールスマンの死　邪魔者は殺せ（二十四日まで）
★聚楽館　夜六時三〇分　悪徳警官　太鼓の響
★ひかり座　夜六時三九分　黒いさいころ　サンタフエへの道（二十四日まで）
★世界館　夜六時三〇分　くちづけ　新平家物語
★東映劇場　夜七時　弓張月　織田信長
◇磐城市小名浜
★磐城座　夜六時五〇分　娘の人生案内　マンボ（二十一日まで）
★金星座　夜六時四〇分　花嫁はどこにいる　たけくらべ（二十二日まで）
★金美館　夜六時四〇分　月夜の傘　新選組追撃（二十三日まで）

信用も人気もピントの合つた店
平駅前電1860
TANAKA　カメラは田中
三丁目電576・湯本店電308

平競輪
場外　福島　郡山　若松　平
車券発売10時30分
10月 15 16 17 22 23 24

醫療厚生指定病院
財團法人　竹林病院
本院　平市十五町目電八二一
分病棟　平市小太郎町電六〇八

秋の味覺
松茸一品料理
★どびんむし六〇円
★茶わんむし七〇円
★串カツ四〇円
★なべやき八〇円
真夜中でもお食事の出来る……
さかえ
平駅前電988

財團法人　磐城　済世会
松村病院
平市南町二三
（電一〇七・一六九六・一八九二）
看護婦急募中
内科　院長　顧問
胃腸科　呼吸器科　小児科
外科　整形外科　性病科
産婦人科
歯科
放射線科
臨床検査部
薬局
松村祐享
工藤三
清水美虎
横山八十八
原一正
鈴木文雄
松村亨
田辺勇成
松村亨
佐藤龍也
松村政次
田辺勇成
新妻春治
横山八十八
佐藤吉雄
蛭田みさほ